学校の経営　令和5年度　学校経営ビジョン

（1）校訓

〇探求　〇友愛　〇剛健

（2）学校教育目標

「気づく　つながる　創り出す」

～認め合い、学び合い、高め合う生徒の育成～

（3）重点目標

①確かな学びと自立を育む教育の充実

②豊かな心と健やかな体を育む教育の充実

③教職員の資質・能力と指導力の向上

④「ともに学び、ともに育つ」教育の充実

⑤学びのセーフティーネットの構築

（4）～（6）具体的方針・目指す学校像・具体的取組

<u>①確かな学びと自立を育む教育の充実</u>

□「一人も独りにしない」授業づくり（「個別最適な学び」と「協動的な学び」の充実）

・認め合い、学び合い、高め合う学びを創造し、実現に向けた取組み

・「当事者意識」をもって、主体的に「学び」に向かうための「課題」の研究

・生徒の情報活用能力の育成（「デジタル・シチズンシップ」の推進）

・「夢中になる課題」の研究・実践

・「授業創り」に向けた、研究授業等への生徒の参画

□自学自習力の向上

・自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら見通しを持って粘り強く取組み、次につなげる「主体的な学び」を実現

・キャリアノート、学習計画表の活用

□みらい×そうぞう学習<探究的な学習活動>の充実

・「自己理解」、「自己選択」、「自己決定」のある活動の研究・実践

・「自己肯定感」「自己有用感」「自尊感情」等を高める方策の研究・実践

・「総合的な学習の時間」の充実による「探究的な学び」の研究・実践（SDGs等）

□教育課程の充実

・「何を学ぶか」「どのように学ぶか」の視点から、カリキュラムマネジメントの確立と教育活動の質の向上

□学力向上委員会等の組織的取組み

・全国学力・学習状況調査やチャレンジテストの結果分析から、課題把握と改善策の提案、授業改善

②豊かな心と健やかな体を育む教育の充実

□人権教育の推進

・「一人も独りにしない」集団づくりの研究、研修の実施

・人権の視点に「気づく」意識の醸成

・人権課題の柱を意識した学校教育活動

□キャリア教育の充実

・「キャリアパスポート」の充実と活用（私の轍・はがき新聞）

・「キャリア教育の視点」を意識した教育活動の推進

・「持続可能な社会の創り手」の育成に向けた教育活動の研究・実践

・「自己理解」、「自己選択」、「自己決定」等、生徒の主体的・実践的な活動の推進

・様々な教育活動における、「非認知能力」の意識化

□道徳及び健康教育（食育）の推進

・全教育活動での道徳、健康教育を意識した教育の実施

③教職員の資質・能力と指導力の向上

□ファシリテーターとしての在り方研究

・外部講師を招いての、授業改革に向けた研究授業の実施

・校内学力向上委員会による研究の推進

・小中が連携した公開授業・授業交流の実施

□教員の「授業力」の向上

・5Cの視点を持った授業づくりとHirakata授業スタンダードに基づく授業づくり

・ICT（タブレット端末）を活用した授業づくりの研究、研修の実施

・「指導と評価の一体化」に関する研究、研修の実施

・「主体的・対話的で深い学び」のある授業の研究、研修の実施

□業務改善の推進

・持続可能な17の教育目標（YDGs…ヤマディージーズ）を意識した業務改善の推進

④「ともに学び、ともに育つ」教育の充実

□ユニバーサルデザインによる授業づくり

・通常学級にいる支援を要する生徒への支援方法の研究・実践

・インクルーシブ教育システムの研究、研修の実施

・学習環境の整備と学習規律の確立

⑤学びのセーフティーネットの構築

□発達支援的生徒指導及びいじめ、不登校対応の充実

・「指導」から「支援」への転換

・「生徒支援メモ」を活用した情報共有と組織対応

・「認め合い・学び合い・高め合う」集団づくりの研究、研修の実施